

IoTリモート管理を実現

安定した刻印で安心した品質管理データを！



課題

- ・熱・研磨・塗装処理をマーキング後に行うと、マーキングが薄くなり個体管理がとぎれてしまう
- ・マーキング不良によるロスを削減したい

解決案 熱金属処理や塗装でも消えにくい「深彫りマーキング」 MX-Z2000Hを提案

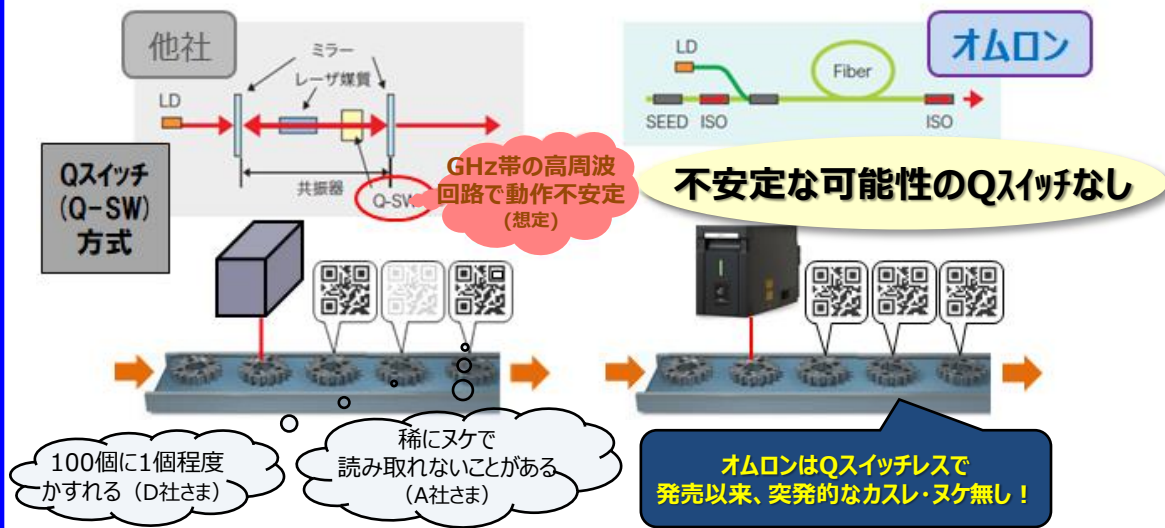
- ▶ 金属物に深穴を印字する独自技術を搭載
- ▶ 「きれい」「ムラなく」マーキング！ 個体管理もとぎれません

- ・処理後にもう一度マーキングをすることもあり生産性が悪い
- ・切削油が付着してコードが読取れない
- ・製品に不良がなくても、コード読取り不良による返品がある



MX-Z2000Hシリーズ

オムロンのレーザマーカMX-Z2000シリーズが解決！



カスレ



オムロンは全てカスレ・ヌケなし！



ヌケ



500円/個の製品の場合
× 1000個/日 (生産数)
× 2% (不良率)
× 25日/月 (稼働) × 12か月
= 300万円/年のロス削減効果！

【効果】

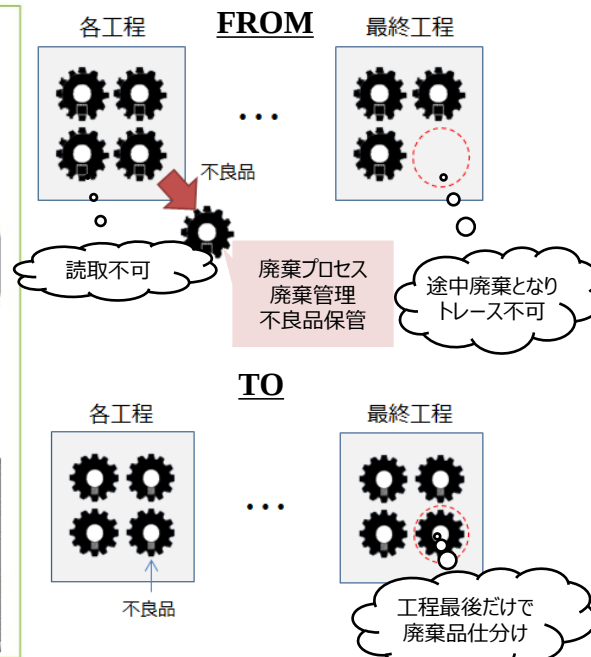
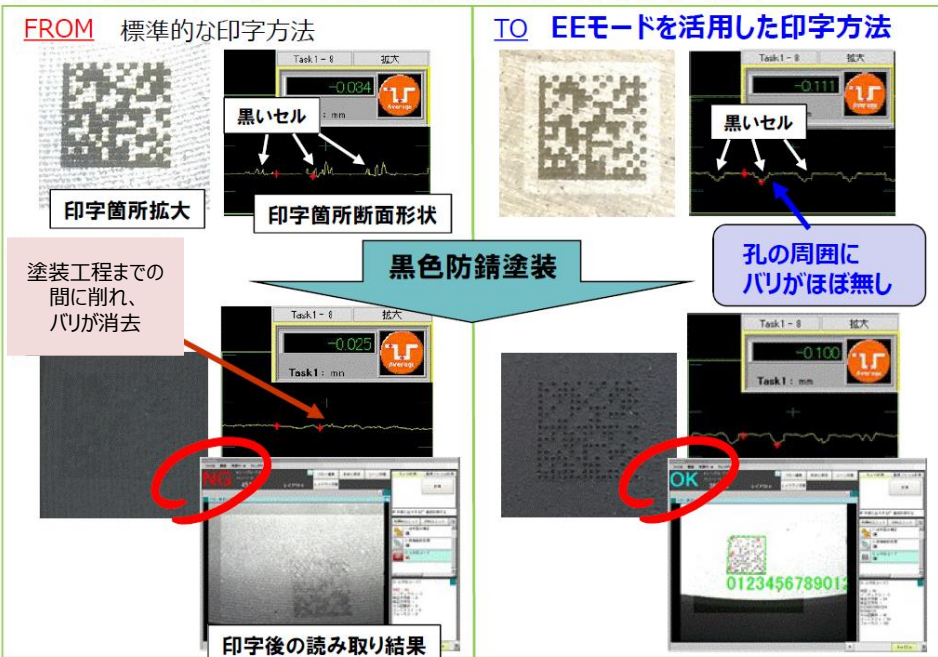
- ・読取り不良を削減し、生産性を向上できます。
- ・熱処理・塗装処理の後に再マーキングするような無駄な工程を省くことができます。
- ・読取り不良による返品を低減できます。

オムロンのレーザマーカなら 深堀印字が可能な為、印字後塗装や熱処理を行っても読取可能です！

工程全体を継続したトレーサビリティを実現！

⇒廃棄プロセスを最終地点で一括処理できるため、**廃棄プロセスと関連コストを削減！**

事例：鋳鉄フライス加工後に、黒色の防錆塗装を施す場合



代表的使用状況における期待寿命計算

- 使用条件[仮想]
 - ・20時間稼働/日、25日稼働/月
(→ 6,000時間/年)
 - ・800個生産/日
- 印字時間[仮想]
 - ・3秒/個 → 40分/日のレーザ出射
(→ 200時間/年)

Qスイッチ方式の場合、
稼働時には**励起LDが常時点灯**
⇒ 6,000時間/年の消耗
MX-Z2000Hシリーズの場合、
出射時のみ励起LD点灯
⇒ 200時間/年の消耗

30倍

考え難いですが、……
LDの期待寿命を1万時間としても、
期待使用期間50年です。
また、Qスイッチ方式をご使用なら、
約3万時間でレーザ交換されていると聞きます。

オムロンのレーザマーカならレーザのメンテ不要です。